【23_038技術系メルマガ】水平線を意識する時、僕が気を付ける事

○○さん

こんにちは、クロです。

テクニカル分析に水平線を活用している人は多いと思いますが、その引き方からラインに対する意識の仕方まで、そのバリエーションは無数にあります。

今日は、今僕が分析に活用している水平線に対してどんな意識を持って見ているかを整理していこうと思います。

そんなに複雑ではないのですが、ちょっと想像と違うと感じる人が多いかもしれません。

参考に出来そうなポイントがあれば検証してみてくださいね。

■ 引き方・解釈　が「人によって違う」からこそ・・・

まず上に書いたサブタイトルが、僕が水平線を使って分析する際に気を付けている事です。

どういうことかというと

前提として、あくまで自分が引いているラインは『自分が “勝手に” 決めた基準で引いている』だけ

である、ということです。

従って、僕が「意識する」と判断して引いたラインだからと言って、実際のプライスがそのラインで「ピッタリ反応する」などとは考えていません。

あくまで “大体この辺” で反応が起これば、他の根拠との重ね合わせが出来て、エントリーの根拠が強化される可能性が高い

という点に注目します。

▼例：H4足で意識する水平線に対するレジ転換▼
https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/chart/2023-02-07.png

中には、ピッタリ価格に反応するラインの引き方があるよ！それができる人を知ってるよ！という意見をもらうこともあるのですが

あくまで相場に対して『不確実性』を前提に見ているという立場上、その考えに対しては懐疑的に見ています。

現在僕が考える水平線に対する意識は、過去に売買の立場が転換した（＝波が切り返された）形跡のある価格帯を見て

次に起こる反応が反転か、ブレイクかを

『H1足の20MAに対するグランビル』『M15足以下のMA収縮と発散の方向』など

ふだん意識している他の目線を決める根拠と複合して考え、『根拠が重なるポイント』まで待ち、捉える為に使うものとしています。

そのため、あくまで水平線は他のテクニカルの要素と同列に『目線を決める判断基準の一要素』であり

それだけでピンポイントに値動きを当てに行く便利なツールではないという点に留意して活用していきたいと考えています。

残念ながら、「これさえ見れば万能」という都合のいいテクニカル分析など存在しません。

あくまで、これらのツールは、ランダムに動く相場に対して自分のブレない軸を立てるための『基準』であると言う事を忘れずに、有効に活用していきたいですね。